



電氣蓄音器オリオン八〇〇號を聴く

ラヂオの流行は一時蓄音器を幽閉した觀があつたが、ラヂオの普及は却つて蓄音器の必要性を喚起させるに至つた。それはラヂオで聞いてよかつた音樂其他を、再び容易に聞かうとするには、現在に於ては蓄音器による他に方法がないからである。

殊に蓄音器のレコードが電氣吹込となり、雜音が極めて少くなつたので、是れをピツクアップを用ひた電氣蓄音器で再生すれば、原音に最も近く、レコード音樂は電氣蓄音器によつてのみ楽しみ得ることとなつた。

電氣蓄音器と名のつくものには種類が可成りに多い。今回我社で發賣したオリオン八〇〇號は音色がきれいなこと、高音、低音が共

によく出ること、音量、音色が自由に調節出来る等の點から云つて、最高級品と申しても過言ではないと思ふ。そして價格も比較的



オリオン 800 號電氣蓄音器

廉なことは特筆に値する。

本年四月六日著名な音樂家の御參集を得てオリオン八〇〇號の試聽座談會を開催したが

その時の御批評は次の如くであつて、此の一事がよくオリオン八〇〇號の眞價を傳へて居ると信するのである。

音樂批評家 伊庭孝氏曰く

「從來の電氣蓄音器にはハム(電氣雜音)がありました。オリオン八〇〇號には全然それがありません。私個人から云ふと低音の響く音が非常に好きなのですが、今度お作りになつたオリオン八〇〇號はそういう點も充分汲みとつて、且つ高音部も適當に出る様にベントードの特性を巧に利用する事に非常な努力をされた事が充分に認められます。それからラウドスピーカーは非常によく出来てゐます。それにツオリウム・コントロール(音量調整)とトーン・コン

トロール（音色調整）が、此の蓄音器位に自由調節が出来れば申分ありません。箱のファイニッシュは恐らくナンバーワンでせう。値段は二百六拾五圓ださうですが大變安いと思ひます。」

東京音楽協會常務理事 堀内敬三氏曰く

「今迄の電気蓄音器は低い音が出るけれども、共通の所謂電気蓄音器の音と云ふいやなものを持つて居つた。即ち低い音の方に力を入れ過ぎるのです。そして高い音になるとほんとうの音が出て来ない。所が此蓄音器では高い音色が大變はつきりして居り



オリオン800號の主要部分

ます。假令ばオーケストラの中のどの樂器も非常に個性がはつきりして居つて、それは他の電気蓄音器にない特色だらうと思ひます。我々が蓄音器に對して要求するのは何であるかといふと、ほんとうの音に一番近い音を出させると云ふ事でありませう。倍音がよく響かないとほんとうの音が出て来ない。人の聲も高音がよく出ないと、發音が明瞭にならないものです。」

帝國音樂學校教授 野村光一氏曰く

「オリオン八〇〇號は高音の出方が大變によく出来て居ります。ほんとうの音樂を再現したものとしたならば、高音も低音も兩方が出て居らなければならぬのであります。事實上普通の電気蓄音器は低音の出方が不自然で低音に芯がない。つまり寫眞を擴大した時にほけるのと同じだと思ひます。幸にしてオリオン八〇〇號は、一般のそう云ふ缺點を取り除いて、ほんとうの音樂を再現することに、今迄のどの電気蓄音器よりも遙かに成功してゐると思ひます。」

東京朝日新聞社囑託 牛山充氏曰く
「一言にして云ふと、今迄の電気蓄音器の臭味がぬけて、我々大多數の高級蓄音器愛好者の希望してゐた夢が、此オリオン八〇〇號で實現されたのであります。」

東洋音樂學校講師 鹽入龜輔氏曰く

「レコードファンの間ではアクセステークの機械が良いか、電気蓄音器が良いかと云ふことが、かなり問題になつてゐて、高級レコードファンは殆んどアクセステークの機械が一番よいと言つて居ります。その理由は今迄の電気蓄音器の音は、ほんとうの音樂から可成り速いものであつたからであります。このオリオン八〇〇號は、今迄の電気蓄音器と違つて原音を再現し、電気蓄音器の持つ良い處と、アクセステークの持つ良い處とを、一緒にした様な機械であります。値段も非常に御手頃でありまして、我々レコードファンにとつては非常に感謝する次第であります。」

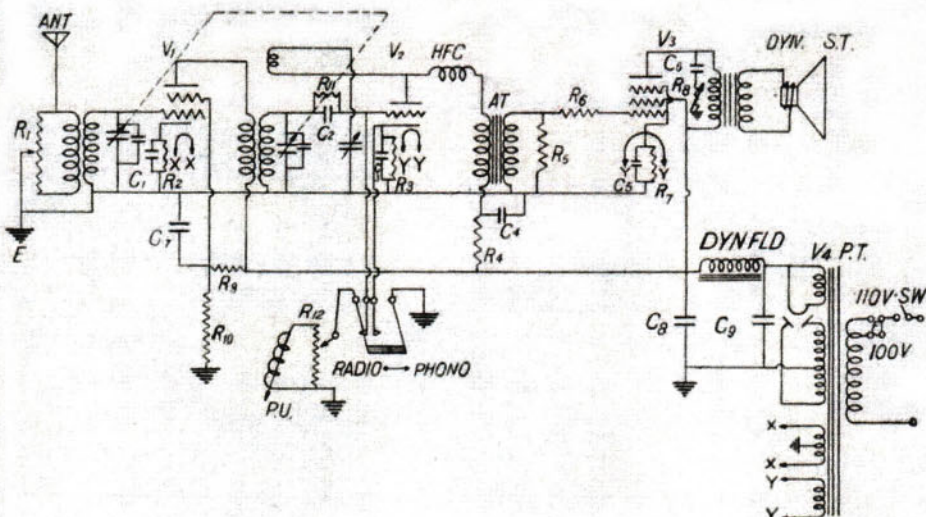
オリオン八〇〇號は電気蓄音器併用の高級セットであつて、從來の此種電気蓄音器の型を破つて、新機軸を開いたテーブルタイプで

ある。外觀の精巧を極めた細工と、高尚で氣品のある塗とが、洗練された内容と相俟つて、最優秀品として推賞に値する。

各部の装置としてはキャビネット右側に電源スイッチを設け、上部中央部に電動機、廻轉盤、ビツクアップ等の電氣蓄音器部分を装備し、蓋を開いて操作するやうになつて居る。又前面の右側にはラヂオ調整用の三箇の把手を備へ、中央は波長調整、右は再生の調節、左は音量加減並に電氣蓄音器の切替スイッチ兼用となつて居り、左側にはダイナミック・スピーカーがついて居る。

ラヂオ受信機としては遮蔽格子四極マツダ真空管UY二二四を高周波増幅とし、マツダ真空管UY二二七で再生檢波を行ひ、終段増幅には超効率の大型五極ペントード真空管UY二四七を用ひて居るので、清澄な音色と豊富な音量とは、優秀なダイナミック・スピーカーの効率と共に、他の追隨を許さない。整流管としてはマツダ真空管KX二八〇を用ひ、効率のよい兩波整流を行つて居る。

受信機としての波長範圍は一、四〇〇キロサイクル(約二一四米)から五五〇キロサイクル(約五四五米)迄受信出来るやうに設計してあり、二重放送受信にも申分なく、又之等の



V ₁	UY-224	R ₁	60,000Ω	R ₁₁	2 meg	C ₅	6. MFD
V ₂	UY-227	R ₅	1 meg.	R ₁₂	100,000Ω	C ₆	0.01MFD
V ₃	UY-247	R ₆	100,000Ω		(Potentio)	C ₇	0.5MFD
V ₄	KX-280	R ₇	490Ω			C ₈	4. MFD
R ₁	1,000Ω	R ₈	100,000Ω	C ₁	0.5 MFD	C ₉	4 MFD
	(Potentio)	R ₉	(Variable)	C ₂	0.00025 MFD		
R ₂	1,000Ω	R ₁₀	60,000Ω	C ₃	1. MFD		AT 1.3
R ₃	2,000Ω	R ₁₁	60,000Ω	C ₄	1. MFD		

オ リ オ ン 八 〇 〇 號 接 續 圖

調整は全部シングル・コントロールになつて居て、然も軸受がボールベアリングなので、實に軽く滑かに調整が出来る。

電氣蓄音器としては、その心臓とも稱しうるビツクアップに最良のものを用ひ、レコードの再生を檢波管UY二二七以下の低周波増

まで容易に出来る様に設計考慮されて居る。従つてお子様方にも取扱ふことが出来、少しの危険もないのは、本機の一大特色である。

此のオリオン八〇〇號の消費電力は約五〇ワットで、電氣蓄音器用モーターは約一二ワットの電力を消費する。

幅器で擴大し、ダイナミック・スピーカーを働かせ、豊富な音量と明朗な音質の自由な調整装置は勿論、一二吋廻轉板及び速度調節器、自動停止装置等を悉く完備し、非常に利便である。又取扱も頗る簡單で、グラランド型の電氣蓄音器の如くレコードを取換へる毎に立上り、調整の都度座ると云ふやうな煩雜な手数がなく、椅子によつたまゝで各部の調整は勿論、レコードの取換